

施設名称	書道博物館	指定管理者の名称	財団法人 台東区芸術文化財団
------	-------	----------	----------------

1. 指定管理者の概要

①業務内容	芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営
②類似施設の管理実績	文化施設 5 箇所
③経営状況	20 年度決算 歳入 1,039,039,432 円 歳出 954,597,877 円 収支差額 84,411,555 円 (区返納金 64,411,555 円 次期繰越金 20,000,000 円) 監査の結果、財団法人台東区芸術文化財団の事業報告書、決算報告書、決算付属明細書並びに財産目録は適正であった。(内部監査報告書より)

2. 施設の概要

①所在地	台東区根岸 2-10-4
②設置目的	洋画家でもあり、書家でもあった中村不折が台東区内に開設した書道博物館は、開館以来 60 年にわたり中村家が運営してきたが、平成 7 年に区が寄贈を受けた。不折の作品及び書道に関する収集品を広く一般に展示公開し、区民文化の振興を図る。
③利用者	区民ほか
④開館日・時間	開館日：休館日（月曜日／12月29日～1月3日／特別整理期間等）を除く 開館時間：9時30分～16時30分（入館は16時まで）
⑤規模	延べ面積 1,032.38 m <sup>2</sup> 1. 蔵 19.11 m <sup>2</sup> RC 造 平屋建 2. 本館 延べ床面積 248.44 m <sup>2</sup> RC 造 2階建て 第1～5展示室 3. 中村不折記念館 延べ床面積 764.83 m <sup>2</sup> RC 造 3階建て エントランスルーム、展示フロアー、特別展示室、中村不折記念室、会議室、事務室など
⑥人員体制	8名 常勤固有職員 (1) 派遣職員 (1) 研究員(常勤固有) (1) 再雇用 (1) 専門員 (3) 財団嘱託員 (1)

3. 事業（サービス提供）の概要

①委託事業	博物館資料の保管及び展示、博物館資料に関する調査及び研究などの事業 施設、付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整頓・その他環境整備等の事業 施設使用料徴収などの事業
②自主事業	施設特別展

4. 施設の稼動状況等

	17年度	18年度	19年度	20年度
開館日数（日）	297	288	288	288
入館者数（人）	11,558	11,728	15,108	13,957

5. 予算決算の推移

(単位：円)

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	委託料	19,404,000	46,999,000	47,133,000	45,768,000	44,484,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	19,404,000	46,999,000	47,133,000	45,768,000	44,484,000
決 算	委託料	18,151,078	43,279,177	40,886,658	42,640,952	
	料金収入等	0	0	0	0	
	管理経費	18,151,078	43,279,177	40,886,658	42,640,952	
	収 支	0	0	0	0	

6. 指標					
指標名称	単位	目標値 (22年度)	19年度	20年度	21年度
入館者数	人	15,000	15,108	13,957	
開館日数	日	288	288	288	
7. 評価項目					
3：協定等の水準を上回っている。 2：おおむね協定等の水準どおりである。 1：協定等の水準を下回っている。 —：評価対象外項目					
評価の観点	評価項目				
①事業の運営 平均 [2.0]	(1) 施設の目的達成	[2]	(6) 開館時間等の遵守	[2]	
	(2) サービス水準	[2]	(7) 自主事業の成果	[2]	
	(3) 職員配置	[2]	(8) 個人情報保護	[2]	
	(4) 職員研修	[2]	(9) 緊急時対応マニュアル	[2]	
	(5) 案内・接遇	[2]	(10) 警備・防犯体制	[2]	
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1) 建物保守・設備機器点検	[2]	(5) 危険箇所等の確認	[2]	
	(2) 備品の管理	[2]	(6) 管理記録の作成・保存	[2]	
	(3) 清掃・衛生管理	[2]	(7) 業務委託の事前承認	[2]	
	(4) 施設の修繕	[2]	(8) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]	
③利用者の満足度 平均 [2.0]	(1) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(4) 利用しやすい環境整備	[2]	
	(2) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(5) 関係団体・地域との関わり	[2]	
	(3) 利用者数の目標達成	[2]			
④歳入歳出 平均 [2.0]	(1) 適正な予算執行	[2]	(3) 収支計画の達成	[2]	
	(2) 経費縮減のための取組み	[2]	(4) 利用料等の徴収・管理	[2]	
8. 評価					
A+ (良好)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり)：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。					
評価の観点	評価	説明			
①事業の運営	A	管理運営に関する業務は円滑に実施されている。また、東京国立博物館などと連携を図り、展覧会を実施してきた。今後も、特別展を充実し、より多くの来館者が得られるよう事業展開していく。			
②施設の維持管理	A	備品及び物品の管理は適切になされており、補修についてもその都度区に連絡が入っている。また、軽微な修繕については、協定書に則し、管理運営費で対応している。			
③利用者の満足度	A	漢字と書を中心とする収蔵品の特性を活かした企画展を開催し、積極的にPRをしている。また、音声ガイドを実施し、利用者へのサービス向上を図っている。			
④歳入歳出	A	現状は妥当である。今後はさらに効率的な運営を行うよう指示していく。			
⑤総合評価	A	委託業務は円滑に実施されており、指定管理者の施設管理は概ね適切である。			
9. 課題への対応等					
貴重な収蔵品を多く持つ施設として、特別展を多く実施し、展示内容を充実すると共に、マスメディアに対するPRを強化していきたい。					